

## 【令和3年 第12回大山町教育委員会 議事録】

日時 : 令和3年10月27日(水) 午後1時30分～  
場所 : 名和公民館 第1会議室  
出席委員 : 向陽寛孝、池嶋順子、湊谷紀子、狛山洋美  
欠席委員 : なし  
教育長 : 鷺見寛幸  
その他の出席者 : 教育次長(前田)、幼児・学校教育課長(田中)、社会教育課長(西尾)、  
: 学校教育室長(浦木)、幼児・学校教育課 担当者(当別当)  
参観人 : 2人

### 日 程

#### 1. 開会宣言

教育長

ただいまから第12回大山町教育委員会を開会します。日程については、配布資料のとおりです。

#### 2. 議事日程の報告

教育長

会議時間については、午後1時30分から終了目標を午後3時00分とします。

##### 日程第1

###### 会議時間の決定

自 午後1時30分 至 午後3時00分

##### 日程第2

###### 教育長報告並びに連絡事項

9月28日～10月27日までの報告事項、今後の予定について説明(下記は主な内容)

教育長

・2学期に入り小学校では学習発表会の準備が進められ、中学校では今週末に文化祭が予定されています。大山きゃらぼく保育園の秋の七草みつけと、中山小学校と中山みど

りの森保育園の稲刈りをしている姿が、今週の月曜日に日本海新聞の記事に載りました。今後は1月3日に成人式が予定されていますし、中学校では高校受験や進路に向けての取り組みが始まります。第6波はいつ来るか見通せない状況ですが、1日1日を大切に教育活動を行っていくことが必要だと考えています。

- ・9月28日に、西部町村就学支援委員会が行われました。
- ・9月29日に、岸本小学校、八郷小学校が大山口列車空襲の平和学習のため来町され挨拶を行いました。平和学習教材のクオリティが高く動画も含めて分かり易い教材だと思います。大山チャンネルで特集を組んで、全町民に披露してもらえたらと思います。
- ・10月1日に、大山小学校の秋見つけに講師として参加しました。
- ・10月5日に、大山町総合文化祭実行委員会で今月の30日、31日に文化祭を開催することが決まりました。
- ・10月8日に、大山保育所佐摩山登山に講師として参加しました。まちづくり大山の方にも参加していただき、地域と密接に結びついた活動が行われています。
- ・10月9日に、町民体力テストが行われました。子どもからお年寄りまで幅広い年代の方が参加する、とても良い取り組みだと感じました。
- ・10月14日に、巣箱コンクール審査会に町長と審査員として参加しました。去年に比べると全体的に応募が減ってきていると感じました。
- ・10月15日に、大山保育所元谷親子ハイキングが行われ講師として参加しました。
- ・10月26日に、県教委と町長の教育に関する意見交換会が行われました。少人数学級についてと学力向上対策について県の意見を述べられ、大山町としても要望をあげさせてもらいました。

### 日程第3

#### 議案第1号 少人数学級について

教育長

先日、総合教育会議で少人数学級の方向性について意見交換していただきました。定例教育委員会で議題として挙げるのは初めてです。事務局より説明をお願いします。

次長

国の方針は令和4年度の小学校1年生から3年生を35人学級、4年生は40人学級と計画しています。鳥取県は30人学級を考えていますが段階的に行うという事で、はっきりと決まっていないそうです。大山町としましては、小学1年生から中学3年生までを来年度から一度に少人数学級にしていきたいと考えています。現時点での令和4年度

大山町推定児童生徒数で説明させていただきますが、来年度に大山町独自の30人学級にした場合、大山西小6年生、名和中3年生（※教員2人分）が200万協力金の対象となります。また、名和小5年生、大山西小5年生、中山中1年生は、県の基準以上のクラスに分けるため500万協力金の対象となります。全て合計すると2100万円となります。国や県の少人数学級が拡大していけば、この金額も少しずつ減っていくのではないかと思います。なぜ、少人数学級にしていくのかについては、小学校1年生で2クラスあった学年が小学校3年生で1クラスになった場合にクラスに荒れがみられ始めるため、クラス数を減らさずに小学校1年生から中学校3年生まで同じクラス数でいきたいと考えています。転校等の人数減少があった場合に前年度2クラス、今年度1クラスになるケースが今後出てくるかもしれませんが、そうなった場合もクラス数を減らさないというルールを設けてはどうかという提案についての議論もお願いします。

#### 教育長

おそらく鳥取県は段階的に少人数学級が進んでいくと思いますが、大山町は小学校1年生から中学校3年生までの9年間を一度に少人数学級にすることによって大山町独自の仕組みを作ったほうがいいのではないかと町長の考えです。教育委員の皆さんからのご意見をいただきたいと思いますので宜しくお願いします。

#### 委員

3年生で1クラスになった時に、落ち着いた状況で学習できないお子さんがいる事がとても残念に思います。大山町の子ども達の学力をつけるためにも、できることなら入学時の体制がずっと続くのが理想です。子ども達にも保護者にも学校にとっても少人数学級は良い事だと思います。無理をしてでも頑張っていたらと希望します。

#### 委員

I C T教育がこれから益々増えると思いますので、授業する先生方も少人数学級だと目が届き易いと思います。小学校1年生から中学校3年生までは、少ない人数で教育したほうが、力がつくのではないかと思います。

#### 委員

大山小学校は子ども達のを力をつける少人数の良さが出ていると思います。

#### 教育長

大山小学校は、もともと少人数学級の学校です。一人ひとりに応じた、きめ細やかな教育ができていると感じます。

#### 委員

子ども達に目が行き届く落ち着いた学習をしていただきたいです。学力の格差が開かないように、出来るだけ早く少人数学級にしていただきたいと思います。若い先生方も増えていますし、ベテランの先生も苦心されている姿もあるので、少人数学級のほうがいいのではないかと思います。

#### 委員

特に小学生は一人ひとりの性格に合わせた指導をしてもらえると、すごく伸びると思います。是非、少人数学級を進めてもらいたいです。

#### 次長

前年度のクラス数を下回らないようにしたいという提案について議論をお願いします。転校等で1人減ったために、2クラスだったものが1クラスになることを防ぎたいための提案です。安定して2クラスを維持していくために、ルール作りが必要なのではないかと考えています。

#### 委員

2クラスから1クラスになるとクラスに荒れがみられるという沢山の事例があるのでしたら、こういったルールは必要なのかなと思います。

#### 教育長

全県的に1、2年生で2クラスあった学年が3年生で1クラスになり、3年生で荒れるという例が各地で出ています。教育長の意見交換会でもそういった意見を聞きました。

#### 委員

学校で、きめ細やかにみていただけると、子ども同士もお互いを認め合える関係が長続きしやすいと思います。鳥取県の少人数学級の基準も早くしていただきたい。

#### 教育長

春に各教育長の意見集約がありましたが、小学校1年生から6年生までを30人学級にして欲しいという要望が一番多くありました。鳥取県は一度に30人学級にすると教室不足や教員の確保ができないため、国と同じように段階的にやらしてほしいという事でした。どうしてもやりたいということでしたら、協力金方式でやりましょうということです。

#### 委員

1年でも早く実施していただきたいです。

教育長

鳥取県が年次的に30人学級になりますから、負担金もどんどん減っていきます。

委員

今は大変かもしれませんが、早いうちに少人数学級にされたほうがいいと思います。

委員

大山町の各小中学校の教室数は大丈夫ですか。

次長

なんとか大丈夫です。

教育長

全ては子ども達のための学校ですから、学校の環境整備を整えることが大切です。

次長

2クラスに分けたときに考えていただきたいのが1クラスの適正人数は何人かということです。県も1クラスが12人～13人で本当にいいのか議論しているようです。大山町も前年度維持で2クラスにすると14人～13人になる場合もあると思いますが、極端に少ないクラスができてしまうのではないかとということも懸念しながら考えていきたいと思います。

委員

あまりにもクラスの人数が少ないのも問題があると思います。学習するには良いと思いますが、皆で何かをする時には寂しいかもしれません。

委員

2クラスにするとクラス替えは行わないのですか。

次長

あると思います。

委員

クラス替えが出来るのは新鮮で魅力のひとつだと思います。

次長

1クラスが14人～13人になったとしても2クラスに分けたほうが良いという事ですね。

教育長

一度に何人も転校というのは考えにくいことなので、極端に人数が少なくなる事は無いと思いますが、クラス数が減ったために落ち着かない学級になったり、問題が起こったりするという事例があることを考えると、少なくとも前年度のクラス数は維持したほうが良いと思います。

委員

そう思います。

教育長

方向性としてはよろしいでしょうか。

全委員

了承。

教育長

皆様からご意見をいただきました。ありがとうございました。

次長

今後の予定として、今日の定例教育委員会で承認後、予算確保に向けて12月議会で議員の皆さんに承認をいただけるように正式に動き始めます。

教育長

教育委員の皆さんから、大山町独自の少人数学級を進めるというご意見をいただきました。この方向で進めさせていただくということで宜しいでしょうか。

全委員

了承。

#### 日程第4

#### 議案第2号 大山町立中学校運動部活動外部指導者活用事業補助金交付要綱の制定について

教育長

事務局より説明をお願いします。

幼児・学校教育課長

県の補助事業を活用して外部指導者の派遣を受ける中学校長に対し補助金を交付しているものです。目的としては、地域の専門的指導者を派遣し、運動部活動と地域社会との連携を進め、運動部活動の活性化を図ることとしています。本補助金の額は、次条に掲げる補助対象経費の10分の10とし、上限はありますが全額中学校長に交付します。補助対象経費につきましては、県の交付要綱にあわせています。謝金につきましては、1人当たり年間10万円を上限とし、指導1時間当たりの単価を出しています。外部指導者を被保険者とするスポーツ安全保険料として、1人当たりの上限を定めています。また、外部指導者が運動部活動外部指導者等研修会に参加するための旅費として1人当たりの上限を定めています。令和3年10月27日から施行し、令和3年度事業から適用します。宜しくをお願いします。

教育長

ご意見、ご質問があればお願いします。

委員

外部指導者は各中学校でどのくらいおられますか。

幼児・学校教育課長

今年度は名和中学校でバスケット部に1名おられます。

委員

人数的には足りていますか。

次長

現在、部活動の専門の先生は各中学校におられるので人数的には足りていますが、一部、専門でない先生が担当している部活動もあります。中山中学校は以前から部活数を減らしていますし、町内中学校と合同チームを作り活動しています。

委員

学校の部活に満足できない生徒は民間のクラブに通っていますか。

次長

硬式野球や水泳に通っている子もいます。

委員

生徒数が減少して部活動を維持するのも大変です。

委員

この要綱を制定することによって外部指導者の方は増えますか。

次長

この制度自体は、これまでもずっとあったものです。

教育長

学校の先生方の働き方改革からも活用していきたいと考えていますが、人材がいないのが現状です。人材がいれば、どんどん活用していきたいと考えています。

委員

大会の遠征等や試合前の練習等、先生の負担軽減のためにも良い外部指導者の方がおられると良いと思います。引き続き広く募集していただきたいと思います。

教育長

交付要綱の制定についてよろしいですか。

全委員

了承。

### 3. その他

- ・ 保育所の入所予定児童数について
- ・ 来年度の学習支援員について
- ・ 文化祭について
- ・ 成人式について

#### 4. 次回の開催日程

令和3年11月29日

#### 5. 閉会宣言

午後2時45分